

令和2年度 北海道青少年育成大会 開催要項



1 趣 旨

次代を担う青少年の健全育成は、本道の未来を築くためには何よりも大切な取組であることから、地域で活動している青少年育成関係者が一堂に会し、講演を通じて青少年を取り巻く諸問題についての認識を深めるとともに、道内で優れた地域活動をしている青少年・団体の顕彰や青少年による活動発表などにより、地域における青少年育成活動の一層の推進を呼びかけ、道民意識の醸成を図る場とするものです。

2 主 催

公益財団法人北海道青少年育成協会

3 後 援 (予定)

北海道、北海道教育委員会、北海道警察、北海道市長会、北海道町村会、北海道女性団体連絡協議会、北海道PTA連合会、北海道高等学校PTA連合会、北海道高等学校長協会、北海道中学校長会、北海道小学校長会、北海道子ども会育成連合会、北海道暴力追放センター、北海道少年補導員連絡協議会、北海道地方保護司連盟、北海道地方更生保護女性連盟、札幌更生保護女性連盟、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、北海道青少年育成アドバイザー連絡協議会、北海道民生委員児童委員連盟、札幌市民生委員児童委員協議会、札幌市青少年育成委員会連絡協議会、札幌市PTA協議会、北海道新聞社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、NHK札幌放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、UHB北海道文化放送、TVhテレビ北海道

4 日時・会場

日時：令和2年9月4日（金）10：00～14：45

会場：道民活動センター（かでの2・7） かでのホール

（札幌市中央区北2条西7丁目 011-231-4111 内線36-124）

5 日 程

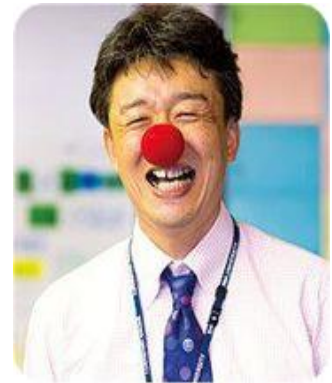
時 間	内 容
9：30	・受 付
10：00	・開 会（主催者挨拶）
10：05	・令和2年度 北海道青少年基金事業顕彰表彰式
10：15	・来賓祝辞
10：20	・基調講演（「Zoom」によるオンライン講演） 講師：昭和大学 准教授 副島 賢和 氏 演題：「コロナショックにより傷つきを抱えた子ども達への関わり」
11：50	・昼 食（「日本横断テレワーク演奏会（遠軽高校吹奏楽局ほか）」を上映）
13：00	・青少年の活動発表（高校生団体「BLOSSOM」）
13：30	・事例発表 ■発表者：札幌市若者支援総合センター（Youth+センター）館長 松田 考 氏 発表題：「子ども・若者の居場所を考える」 ■発表者：ネイパル厚岸 所長 森 敏隆 氏 発表題：「地域で子どもを支えるということ ―釧路鳥取てらこやの可能性―」
14：45	・閉 会

基調講演 講師紹介

講師：昭和大学 准教授 ^{そえじま}副島 ^{まさかず}賢和 氏

演題：「コロナショックにより傷つきを抱えた子ども達への関わり」

1966年福岡県出身。昭和大学大学院保健医療学研究科准教授、昭和大学附属病院内学級担当。学校心理士スーパーバイザー。大学卒業後、東京都の公立小学校教諭として勤務。1999年より東京学芸大学大学院にて心理学を学び、2006年より8年間、品川区立清水台小学校教諭・昭和大学病院内さいかち学級担任。「ホスピタル・クラウン」でもあり、2009年ドラマ『赤鼻のセンセイ』（日本テレビ）のモチーフとなる。2011年『プロフェッショナル仕事の流儀』（NHK総合）に出演し、大きな反響をよぶ。著書に『あかはなそえじ先生のひとりじゃないよ：ぼくが院内学級の教師として学んだこと』（学研教育みらい）、『赤はな先生に会いたい！』（金の星社）など。



6 参加対象

青少年育成運動推進指導員、市町村青少年育成委員、市町村青少年補導センター少年補導委員、少年補導員、市町村青少年問題協議会委員、民生委員児童委員、保護司、社会教育委員、社会教育指導員、公民館運営審議会委員、青少年育成市町村民会議・青少年育成団体関係者、青年団体・女性団体・PTA関係者、町内会・自治会等関係者、社会福祉・社会教育関係団体関係者、総合振興局・振興局・教育局及び市町村青少年行政主管課職員、公民館等社会教育施設職員、企業勤労青少年教育担当者、北海道警友会、その他本大会の趣旨に賛同する方

7 参加申込み

次のいずれかの方法により、お申し込み下さい。

FAXによる申込み方法

別紙「参加申込書」に記載の上、FAXにより送付してください。

■当協会FAX番号：（011）231-6457

当協会ホームページからの申込み方法

『各種ダウンロード』ページより、当大会の参加申込書（Word版）をダウンロードし、記入した後、ファイルとして保存の上、メールに添付し、送付してください。

■当協会ホームページ： <http://www.ikuseikyo.jp/>

当協会 HP

■当協会メールアドレス： youth@ikuseikyo.jp

QRコード



【留意事項】

- 市町村又は市町村教育委員会におかれては、主管課で職員や関係団体・個人の希望者を取りまとめの上、お申し込み願います。
- 札幌市におかれては、子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課で市内10区分の職員や青少年育成委員等の関係者を取りまとめの上、お申し込み願います。
- 各総合振興局・振興局及び教育局の職員におかれては、直接お申し込み願います。

☎ 申込期日 **令和2年8月14日（金）必着**でお願いします。

☎ 申込先 **公益財団法人北海道青少年育成協会**

（〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階）

電話 （011）231-6451

FAX （011）231-6457

8 その他

□新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

- ・会場である「かでの2・7」につきましては、3密等を避けることから、利用定員を制限されている関係上、事前にお申込みのない方のご入場をお断りする場合がありますので、ご了承ください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、当日はマスクの着用のほか、会場入口にアルコール消毒液を設置しておりますので、手指消毒の徹底をお願いします。
また、会場入口でのサーモグラフィー装置による検温を実施し、「37.5度以上の発熱」がある方や「体調不良の方」は入場出来ませんので、ご了承ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、大会が中止になる場合があります。その場合、当協会のホームページによりお知らせいたします。

□本大会参加者名簿について

個人情報保護等の観点から配付しませんので、ご了承ください。

□昼食について

当方で弁当（お茶付き700円）を斡旋しますので、希望者は参加申込書の欄に〇印をつけてください。昼食代金は当日10時までに食券引換受付で食券と引換えに納めてください。

□会場駐車場について

会場のかでの2・7に駐車はできません。公共の交通機関等をご利用ください。

□「令和2年度 青少年育成運動活性化研究協議会」と兼ねての開催について

令和2年11月6日（金）に札幌市で開催予定の標記研究協議会については、新型コロナウイルス感染拡大による参加者へのリスク軽減のため、本大会と兼ねて開催することといたしましたので、ご理解くださるようお願いいたします。



令和2年度 北海道青少年育成大会 参加申込書

市町村・団体名 _____

担当者所属 _____

担当者氏名 _____ 電話番号 _____

番号	氏名	所属機関・団体名	昼食希望者は ○印	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

当協会ホームページからも、お申し込み可能です。

『各種ダウンロード』ページより、当大会の参加申込書（Word版）をダウンロードし、記入した後、ファイルとして保存の上、メールに添付し、送付してください。

■当協会ホームページ : <http://www.ikuseikyo.jp/>

■当協会メールアドレス : youth@ikuseikyo.jp



当協会 HP QR コード



公益財団法人 北海道青少年育成協会

060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階

TEL : (011) 231-6451 FAX : (011) 231-6457

担当：事業グループ 福田